

目 次

I FORTRAN の構成

1	プログラムの要素	
1. 1	表 記 法	3
1. 2	基 本 記 号	5
1. 3	識 別 子	7
1. 4	文	8
1. 5	プログラムの構成	8
1. 6	コーディングの仕方	11
2	データの要素と記述	
2. 1	データの編成	14
2. 2	データの型と長さ	15
2. 3	データの識別	17
2. 4	配列の宣言	22
2. 5	型と長さの宣言	23
2. 6	記憶領域共用の宣言	26
2. 7	初期値の設定	29
3	データの処理	
3. 1	演算の種類	32
3. 2	算 術 式	33
3. 3	関係式と論理式	35
3. 4	マスキング式	37
3. 5	式の評価	38
3. 6	代 入	40
4	プログラムの制御	
4. 1	PSW とプログラムの流れ	43
4. 2	飛 越 し	43

4.3	判 断	45
4.4	繰返し計算	47
4.5	停止と休止	53
5	データの転送	
5.1	データの内部表現と外部表現	54
5.2	ファイルとレコード	58
5.3	順アクセス入出力	60
5.4	直接アクセス入出力	64
5.5	内部記憶装置内での転送	68
5.6	書式仕様	69
5.7	NAMELIST	80
6	手続きの定義と引用	
6.1	手続きとは	82
6.2	共通ブロックと引数	83
6.3	組込み関数, 基本外部関数, 総称関数	84
6.4	文 関 数	85
6.5	外 部 関 数	86
6.6	外部サブルーチン	87
6.7	多重入口	88
6.8	プログラム単位間の制御	88
6.9	実引数と仮引数	90
6.10	手続きに関する宣言	92
6.11	実行時サブルーチン	94
7	例 題	
7.1	数学ルーチンの作成	95
7.2	桁落ちと丸め	98
7.3	高精度計算	100
7.4	モンテカルロ法	103
7.5	ラインプリンタによるグラフ表現(1)	106
7.6	ラインプリンタによるグラフ表現(2)	110
7.7	ソーティング	114

7.8	リスト処理	118
7.9	数式コンパイラ	124
7.10	FORTTRAN の拡張	131
付録 1	EBCDIK コード表	134
2	組込み関数 (I) と基本外部関数 (O)	135
3	総称関数	140
4	サービス・サブルーチン	144
5	他の FORTRAN との互換性のための文	145
6	デバッグのための文	147
索 引		151

